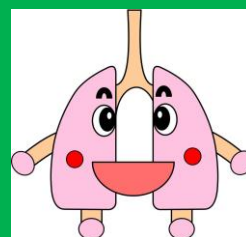


多摩府中保健所感染症週報

令和元年 第23週 (6月3日~6月9日)



肺えもん

今週の傾向

- ★手足口病の報告数が増加しており、今後注意が必要です。
- ★感染性胃腸炎の管内発生報告数は例年同様に推移しています。
- ★適切な手洗いや環境消毒を行い、感染拡大を防止しましょう。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第22週	第23週	第22週	第23週
インフルエンザ	インフルエンザ	0.50	0.36	0.34	0.27
小児科	RSウイルス感染症	0.19	-	0.26	0.25
	咽頭結膜熱	0.71	0.43	0.66	0.64
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.19	2.90	3.15	2.68
	感染性胃腸炎	6.38	6.29	7.66	6.64
	水痘	0.81	0.95	0.52	0.67
	手足口病	0.38	0.90	0.66	0.97
	伝染性紅斑	0.67	0.57	0.38	0.30
	突発性発しん	0.52	1.19	0.56	0.73
	ヘルパンギーナ	0.29	0.19	0.13	0.23
	流行性耳下腺炎	0.14	0.05	0.09	0.09
	不明発しん症	0.24	0.33	0.06	0.11
	川崎病	-	-	0.02	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	0.33	0.18	0.26
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	0.04
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	0.12
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	0.24	0.36
	インフルエンザ (入院)	-	0.33	0.08	0.12

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

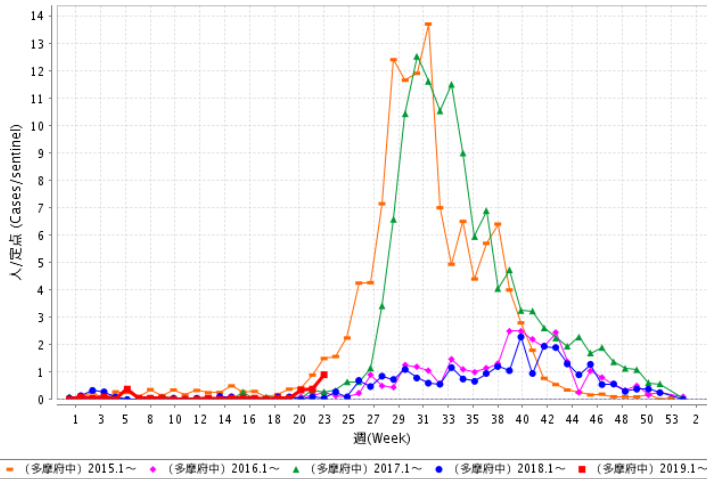
※定点把握対象疾患とは：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

今週の状況

※赤線は2019年第23週までの定点当たりの報告数

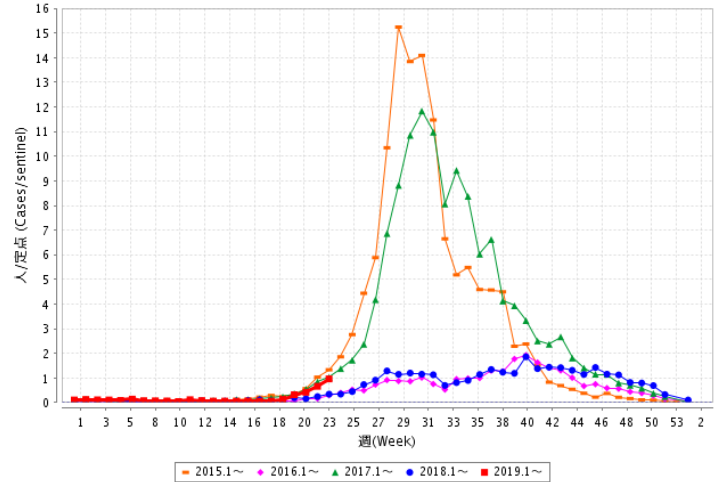
●手足口病・・・定点当たり報告数が増加傾向であり、今後注意が必要です。

多摩府中保健所管内



©2002-2019 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

東京都



©2002-2019 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

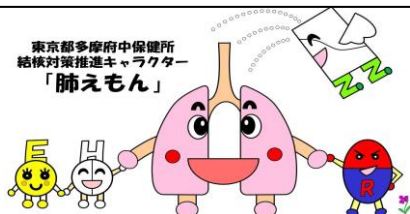
★気をつけよう 夏に流行するこどもの感染症

毎年、6～8月にヘルパンギーナや手足口病、咽頭結膜熱（プール熱）は流行のピークを迎えます。対策のポイントを理解し、感染拡大を防止しましょう。

♪ 対策のポイント ♪

- 1 ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜熱は、咳やくしゃみによる飛まつ感染や、子供同士の触れ合い等による接触感染でうつります。
- 2 集団生活ではタオルの共用を避け、子供の年齢に応じて、咳エチケットを心がけるよう伝えましょう。また、トイレ後や食事の前には流水と石けんで手を洗う習慣をつけましょう。
- 3 プールの前後のシャワーを必ず浴び、手は流水と石けんで洗いましょう。
- 4 ヘルパンギーナや手足口病、咽頭結膜熱は、症状が治まってもしばらくは、便の中にウイルスが含まれているので（発症から2～4週間）、オムツ交換後はしっかり流水と石けんで手を洗いましょう。オムツ交換時は、使い捨ての「手袋・エプロン・マスク」を着用しましょう。
また、オムツ交換台の消毒はアルコール濃度70%～80%の消毒薬、または塩素系消毒薬（0.02%の次亜塩素酸ナトリウム溶液）を使用して、排せつ後など使用のたびに実施しましょう。
*東京都感染症情報センターのページもご参照ください。

URL: <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp> (感染症情報センター疾患別メニューページ)



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
TEL: 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報